

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	形態機能学III		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	406
担 当 教 員	新井 篤史 他	実務経験と その関連資格		島根大学医学部附属病・松江赤十字病院・安来市立病院で臨床工学技士として勤務		

《授業科目における学習内容》

この科目では、環境の変化にすばやく反応する機能として、筋の収縮による運動機能、思考や記憶を司る中枢神経機能を学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100点)で評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院
 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」 医学書院

《授業外における学習方法》

講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	神経膠・神経細胞について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	1. 神経組織:その構造と機能 1) 神経膠 2) 神経細胞		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	大脑・小脳・間脳・脳幹の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	大脑の構造・大脑皮質の機能局在・小脳・間脳・脳幹の構造と機能		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	髄膜と脳脊髄液・脳への血液供給・血液脳関門の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	髄膜と脳脊髄液・脳への血液供給・血液脳関門の構造と機能		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	脳12神経の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	脳12神経の構造と機能①		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	脳12神経の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	脳12神経の構造と機能②		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回 講義形式	授業を通しての到達目標	脊髄神経の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	脊髄神経の構造と機能①		
第7回 講義形式	授業を通しての到達目標	脊髄神経の構造と機能について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	脊髄神経の構造と機能②		
第8回 講義形式	授業を通しての到達目標	自律神経について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	自律神経の構造と機能①		
第9回 講義形式	授業を通しての到達目標	自律神経について説明できる	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	自律神経の構造と機能②		
第10回 講義形式	授業を通しての到達目標	骨の機能・分類・長骨の機能・骨の形成、成長、および改造について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	1. 骨の機能・分類・長骨の機能 1) 骨の形成、成長、および改造		
第11回 講義形式	授業を通しての到達目標	体幹の骨格について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	2. 体幹の骨格		
第12回 講義形式	授業を通しての到達目標	体肢の骨格について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	3. 体肢の骨格		
第13回 講義形式	授業を通しての到達目標	関節について、骨格系の発生・発達・老化について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	4. 関節 5. 骨格系の発生・発達・老化		
第14回 講義形式	授業を通しての到達目標	筋肉の構造・分類・機能について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	6. 筋肉の構造・分類・機能		
第15回 講義形式	授業を通しての到達目標	骨格筋の呼称・骨格筋の肉眼的解剖学について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	7. 骨格筋の呼称 8. 骨格筋の肉眼的解剖学		